

国指定重要無形民俗文化財・岡山県無形文化財

国指定重要無形民俗文化財

備中神楽 & 阿波人形浄瑠璃

平成28年11月26日(土)

14時〜傾城阿波の鳴門順礼歌の段
15時〜備中神楽「事代主の命の舞」「大蛇退治の舞」

主催 あわ工芸座・徳島県立阿波十郎兵衛屋敷

会場 徳島県立阿波十郎兵衛屋敷
徳島市川内町宮島本浦 184
Tel.088-665-2202、Fax.088-665-3683
<http://joruri.info/jurobe/>

入場料 一般410円、高・大300円、小・中200円



徳島初公演

備中神楽 倉敷社中

岡山県の備中地方の人々が、受け継ぎ伝えてきた備中神楽は、今もなお「信仰の精神」を失わず、しかもその時代時代の人々の魅力をつなぎとめて「高い芸能生」を育てて来たところに特色があります。日本誕生の古事記、日本書紀、出雲神話の中から「天の岩戸開き」「大国主の国ゆずり」「素戔鳴の尊の大蛇退治」の三編の神話を演劇風の神楽に仕組んだものが、現在の備中神楽です。倉敷社中は、昭和60年1月結成以来、倉敷市の姉妹都市の各国を国際交流として公演して来ております。



人形・あわ工芸座、太夫・後藤俊子、三味線・鶴澤友輔

昭和57年4月に第1回阿波人形芝居伝承教室の修了生を中心に「伝承座」を結成。平成5年から「あわ工芸座」として活動を始めた。「世界をかける人形座」をキャッチフレーズに、ヨーロッパ、アメリカ、マカオなどの海外公演に出演。平成15年6月、チェコで開催された「第7回世界人形芸術祭」では「最優秀デザイン賞を受賞。今年4月から、友輔会の太夫としても活躍する後藤俊子氏が2代目座長となり、国内外で活躍中。

鶴澤友輔師匠は、東京藝術大学音楽学部邦楽科卒。平成13年に人間国宝鶴澤友路師匠より鶴澤友輔を拝命し友輔会を発足。瀬戸内寂聴原作の新作人形浄瑠璃の作曲・演奏を担当するなど国内外で精力的に活動している。平成13年に(財)徳島県文化協会の芸術文化奨励賞を受賞。平成18年には、徳島県から阿波文化創造賞を受賞した。